

今、フィリピン経済が熱い!

ASEANの中でトップクラスの経済成長率を誇るフィリピン。

日本からの投資先としても注目されており、日系企業の拠点数も年々増加しています。

来年2月には京都商工会議所「フィリピン経済視察団」が予定されるなど、熱い視線が注がれているフィリピン経済の“今”をご紹介します。

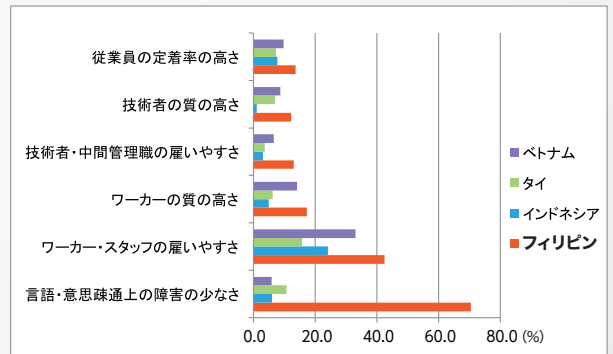
ASEAN第2位の人口と質の高い労働市場

フィリピンは2014年に人口1億人を突破し、ASEANでは人口2億5千万人のインドネシアに次ぐ大国であり、平均年齢が23歳と若く、人口ボーナス^{※注1}が続くと予想され、労働市場としても消費市場としても今後大きな期待が寄せられています。

フィリピン国民は母国語のほか、幼稚園から英語教育を受けており、アジアの中で英語能力が大変高い国の一つです。また、大学卒の人材も豊富な上、人件費が大幅に安く、失業率の高さからも人材確保が周辺国に比べ容易であるなど、投資先として魅力的な条件が揃っています。

注1：労働力増加率が人口増加率よりも高くなることで、経済成長が後押しされること。

投資環境に係る諸項目に関し日系企業が「評価する」回答の比率



出所：ジェトロ 在アジア・オセアニア日系企業活動実態調査2014年

今後のフィリピン経済

好調なフィリピン経済を牽引しているのが、在外フィリピン人労働者 (OFW) からの海外送金に支えられた個人消費と、高い英語力や豊富な人材を活かしたコールセンター、さらには間接部門のアウトソーシング事業 (IT-BPO) などのサービス輸出です。

一方で、高水準の経済成長にも関わらず失業率が改善しないことへの危機意識から、フィリピン政府において多くの雇用を創出する製造業が見直されており、今後、外資系製造業への投資インセンティブなどの関連政策への関心が高りつつあります。また、来年に大統領選挙を控えており、フィリピン経済への影響が注目されています。



フィリピンビジネスセミナー開催!!

日時 12月9日(水) 14:00~17:00
 会場 京都リサーチパーク4号館 ルーム2
 内容 ①フィリピン経済特区における投資の機会
 フィリピン経済区庁長官 貿易産業省副大臣
 リリア B デリマ 博士
 ②フィリピンの経済概況と進出日系企業の動向
 ジェトロ・マニラ所長
 安藤 智洋 氏 等 参加費無料

フィリピン経済視察団

日時 2016年2月16日(火)~20日(土) 4泊5日
 主催 京都商工会議所 共催 ジェトロ京都
 詳細 <http://www.kyo.or.jp/s/101393/>



【問合せ先】
日本貿易振興機構 (JETRO)
京都貿易情報センター

JETRO

所在地/〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
 京都リサーチパーク2号館2階
 TEL/075-325-5703 FAX/075-325-5706
 E-mail/KYO@jetro.go.jp
 URL/<http://www.jetro.go.jp/indexj.html>